茨城県つくば市上郷地区　強い農業・担い手づくり総合支援交付金（先進的農業経営確立支援タイプ）　法人　施設野菜作

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 露地野菜と水稲が主体の地域。
- 当該地区の農地の大部分は、土地持ち非農家が所有している。農地は他地域の大規模白菜農家等へ貸借されており、地元農家の規模拡大が難しい地区。

【支援内容・背景】

- 量販店等の需要が旺盛であり、供給量を増やす必要がある。
- 助成対象者は地区内で葉菜類や果菜類を有機JAS規格に基づき栽培している法人であり、規模拡大（ハウス増設）やコスト削減に資する機械化の導入により増収を志向している。

このため、ハウス増設及び潅水制御装置等の導入を支援した。

茨城県

つくば市上郷地区

助成対象者「㈱F」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 2015年　新規参入
- 2017年　有機JAS認証取得
- 2018年　法人化
  JGAP認証取得
- 2019年　農業経営改善計画の認定
  2020年　ASIAGAP認証取得

《事業活用の背景》

○　販路への供給量及び収益を拡大するためには、経営面積の拡大、コスト削減が必要。
供給量と収益の拡大に向け、経営面積拡大に資する新設ハウス、コスト削減に資する潅水制御装置を導入。

【事業実施時の状況】
〈R2年度〉

○付加価値額　16,961千円

○経営面積　1ha

《事業による整備内容》

○　パイプハウス　10棟
事業費　15,216千円
（国費　4,565千円）

○　潅水配管装置　10箇所
事業費　1,350千円
（国費　405千円）

○　潅水制御装置・土壌水分センサーシステム
（ハウス35棟）
事業費　3,401千円
（国費　1,020千円）

【現在の経営状況】
〈R4年度〉

○付加価値額　43,673千円　（257%）

○経営面積　1.4ha　（140%）

事業の効果

《対象者》 経営面積の拡大及びコスト削減を成し、収穫量の増加及び収益の拡大を実現。
《地　区》 助成対象者への支援により、当該地区担い手の安定生産を確立。

栃木県真岡市長沼地区　強い農業・担い手づくり総合支援交付金（地域担い手育成支援タイプ）

法人　水田作

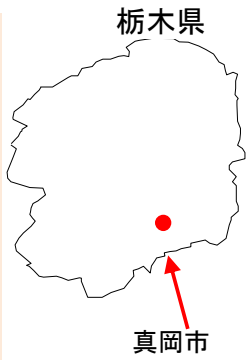
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 鬼怒川の東岸に位置する広大な水田地帯であり、土地利用型農業に加え、いちごを中心とした施設園芸も盛んな地域。
- 大規模な経営体も多く、複数名の中心経営体が集積を進めている地区。

【支援内容・背景】

- 中心経営体への農地集積が進むなかで、経営規模の拡大や経営の効率化を進め、安定的に地域を担える経営体の育成が必要。
- 助成対象者は40代で、水稲、麦、大豆、そばの複合経営を行っており、地域の担い手として期待され、本人も作付け規模を拡大したい意向。
- 地区における水田の大規模な経営体として育成・支援するため、事業を実施。



助成対象者「株式会社Y」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成23年度　経営改善計画の認定
- 平成29年度　法人化
- 既存の農業機械（R4）

グランドハロー（2.6m）、
レベラー（4m）、
田植機（8条植）、
トラクター（75ps、85ps、117ps、120ps）
コンバイン（6条刈）、
播種機　等

《事業活用の背景》
○　水田の大規模経営を実現するため、経営面積の拡大、付加価値額の拡大に向けて生産の効率化に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R2年度〉

○売上高　23百万円
○経営面積　47.4ha
○目標面積（R7）　51ha

《事業による整備内容》
○　グランドハロー(2.6m)1台
事業費　1,750 千円
（国費　477千円）

○　レベラー(4m)　1台
事業費　5,100千円
（国費　1,390千円）

○　田植機（8条植）　1台
事業費　3,300千円
（国費　900千円）

【現在の経営状況】
〈R4年度〉

○売上高　35百万円（152%）
○経営面積　57ha（120%）
○目標面積（R10）　67ha

事業の効果

《対象者》トラクターアタッチメント及び8条植え田植機の導入によって、作業の効率化、生産性の向上が図られ、経営面積の拡大とともに付加価値額の拡大が図れた。

《地　区》大規模圃場に対応できる中心経営体を育成することができた。

静岡県浜松市西区　強い農業・担い手づくり総合支援交付金（先進的農業経営確立支援タイプ）

法人　露地・施設野菜

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 広大な市域に多様な地形が併存し、果樹を始め野菜、花き、水稲や茶など、多品種作物が作付けされている
- 高齢化、担い手不足から離農する農家の増加、それに伴う耕作放棄地の増加

【支援内容・背景】

- 次代の農業の維持・発展のため、新規就農者への支援及び既存の中心経営体の経営発展に向けた支援が必要
- 助成対象者は会社員から転身した若い新規就農者であったが、経営開始当初から早期に機械化を進め、作業効率の向上を図るなど優れた農業経営が期待できたことから、その経営規模拡大を支援

静岡県

浜松市

助成対象者「(株)A」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成23年　会社を退職し、JAとぴあ浜松新規就農者養成塾にて農業研修を開始
- 平成24年　営農開始
- 平成29年　経営改善計画の認定
- 令和3年　法人化（株式会社）

《事業活用の背景》
〇経営規模拡大のため、販売量の増加と作業効率化が必要
〇ハウス導入による安定生産で収量増と作業効率化を実行し、経営規模の拡大・安定を図る

【事業実施時の状況】
〈R2年度〉

〇売上高　45百万円

〇経営面積　4.3ha

〇作付品目
たまねぎ
さつまいも
ブロッコリー
トマト
トウモロコシ 他

《事業による整備内容》
〇 ハウス6連棟
954㎡

事業費 13,838千円
（国費　4,151千円）

【現在の経営状況】
〈R4年度〉

〇売上高　102百万円（226%）

〇経営面積　8.9ha（206%）

〇作付品目
たまねぎ
さつまいも
ブロッコリー
トマト
トウモロコシ 他

事業の効果

《対象者》収量増加と作業効率化により、売上高・経営面積増加が実現
《地　区》経営の発展・法人化により地域農業に定着。モデルケースとして新規就農者への波及効果を期待